

第1回

# オンラインセミナー

自分流で世界と繋がる

9月27日(金) 19時~20時30分



プログラム

19:00

オープニング

19:07~19:40

1. プレゼンテーション

(1名10~12分程度×3名)

『わたし流の世界との繋がり』

- 1) 今、どのように世界と繋がってる?
- 2) 今の仕事/活動のきっかけは?
- 3) 今の仕事/活動のおもしろさ、難しさ、想いは?

19:40~20:15

2. パネルディスカッション

20:15~20:25

質疑応答

20:25

閉会

パネラー プロフィール



パネラー① 島村優希 (大阪大学人間科学研究科修士1年生) NPO法人CODE 学生スタッフ

大学3年生からCODE海外災害援助市民センターのインターン生として国内でのウクライナ避難民支援、トルコ・シリア地震での現地派遣活動に携わる。現在は能登半島地震の被災地支援活動も行っている。



パネラー② 篠原典子 公益財団法人兵庫県国際交流協会 日本語教育総括コーディネーター

日本語教師の第一歩は台湾、その後神戸の専門学校で主に留学生対象の日本語教育に従事。マレーシアの日本語留学特別コースでの勤務を経て、2022年より現職。



パネラー③ 三浦真暉 JICA関西 開発大学院連携課

大学卒業後、JICA海外協力隊(フィジー共和国・卓球)に参加。帰国後、民間企業での勤務を経て、現在はJICA関西で留学生・大学連携事業を担当。



第2回

# 対面セミナー

今日から実行! 世界と繋がる活動

10月26日(土) 14時~15時35分

会場: JICA関西 ブリーフィングルーム



ミッション1~4のうち、参加してみたいグループを申込時にお選びください(第1希望・第2希望を選択)

## ミッション1 もっと日本のことを知りたい!



JICAでは、世界約100か国からその国のリーダーとなる人材をJICA留学生として受け入れています。日本人学生との交流をしたくても、なかなか機会がないことを悩んでいる方もいらっしゃるかもしれません。皆さんなら、どのようにJICA留学生と関われるか、考えてみましょう。

リソースパーソン 三浦真暉 JICA関西 開発大学院連携課  
大学卒業後、JICA海外協力隊(フィジー共和国・卓球)に参加。帰国後、民間企業での勤務を経て、現在はJICA関西で留学生・大学連携事業を担当。

## ミッション2 地域社会の入り口「日本語教室」を盛り上げよう!



地域の日本語教室では、日本語学習の支援や子どもたちの学習支援を通じ、対話による、対等な関係性での交流を行っています。在留外国人の属性が多様化するなか、日本人側もさまざまな年代・社会的役割をもつ方々の参加が求められています。多様な方々に参加してもらうための方策を考えます。

リソースパーソン 小林麻紀子 公益財団法人兵庫県国際交流協会 日本語教育推進員。2014年から神戸YWCA学院などで日本語指導。2019年よりHIA登録日本語講師としてHIA日本語講座や地域日本語教室にも関わる。2024年4月より現職。

## ミッション3 ラオスの農村部に住む子どもたちの教育環境改善について考える



学生団体CHISEは、2009年より少数民族(モン族)の子どもたちの教育環境改善の活動をしています。学校ではラオ語を勉強していますが、生活言語と違います。また、教室などの学習環境も整っていないため、ハード・ソフト両面から学習支援について考えます。

リソースパーソン 学生国際協力団体CHISE(チーズ)  
「はいチーズ」の一言で世界に広がれピースの輪! をコンセプトにラオスの山岳地帯で学校建設などの教育支援を行っている。

## ミッション4 「英語ができないと…」というイメージを変える!



「英語が堪能でないと外国人とコミュニケーションがとれない」と考える日本人は少なくないです。でもコミュニケーションを取るか/取れないかは、英語能力の問題だけではありません。何がコミュニケーションを阻んでいるのか、原因と解決策を考えます。

リソースパーソン CLUB GEORDIE (クラブジョーディ)  
関西学院大学CLUB GEORDIEは国際交流・国際協力支援の推進を目的として1995年に設立。「The First Step to the World」を理念に掲げ、国際社会へ向けて人々が第一歩を踏み出す支援をしている。

グループディスカッションの最後に、参加者に今日から実行する「世界に繋がる活動宣言」を書いていただきます。

セミナーのお申込は表面をご確認ください